

参考2 秋田県立体育館利用実績

< 3月公表版からの変更点 >

- ・「実施方針等に関する質問の回答」の「2. 業務要求水準書（案）に関する質問の回答」No.320 を踏まえ、11 頁に「大体育場 利用目的別稼働日数／構成比（H30 年度）」、14 頁に「大体育場 種目・用途別稼働日数／構成比（H30 年度）」を追加しました。
- ・利用状況のデータを精査した結果、一部に誤りがありましたので、修正しました。

参考 2 秋田県立体育館利用実績

名称	秋田県立体育館
所在地	秋田市八橋運動公園 1-12
築年月	昭和 43 年 10 月（築 55 年）
構造	鉄筋コンクリート造 地上 3 階
面積	建築面積 5,564.58 m ² 、延床面積 7,636.90 m ²
使用可能面数 （大体育場）	バスケットボール 2 面、バレーボール 2 面、バドミントン 10 面 等
観客席数	固定席 2,368 席（2 階 1,719 席、3 階 649 席）
開館時間	9:00～21:00（12/29～1/3 は休館）
年間利用者数	約 11 万人（平成 30 年度）
駐車場	142 台
運営	一般社団法人秋田県総合公社（指定管理者）

稼働率（使用日数換算）

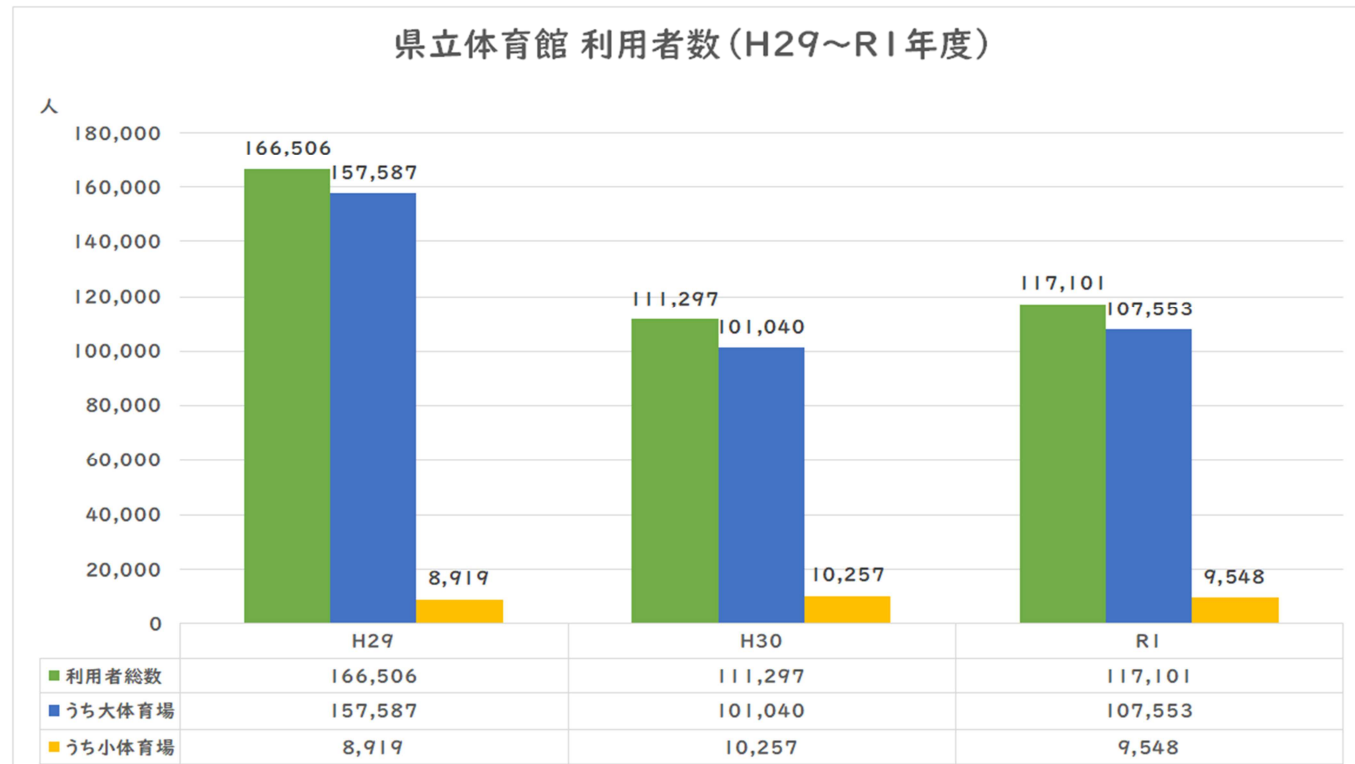
		H29	H30	R1
使用日数	日	355	353	327
稼働率※	%	98.9	98.3	90.8

※休館日（12/29～1/3）を除く、開館日数により計算
 平成29～30年度：359日、令和元年度：360日

令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により異常値となっていることから、平成 29 年度（2017 年度）から令和元年度（2019 年度）までの 3 年間の利用者数の推移等を調査した。

また、同感染症発生前の直近年度である平成 30 年度の大体育場の利用状況について、利用時間数の実績をもとに稼働率（時間換算）を算出したほか、「利用目的別」、「種目・用途別」に利用者数、利用時間数、稼働日数を分析した。

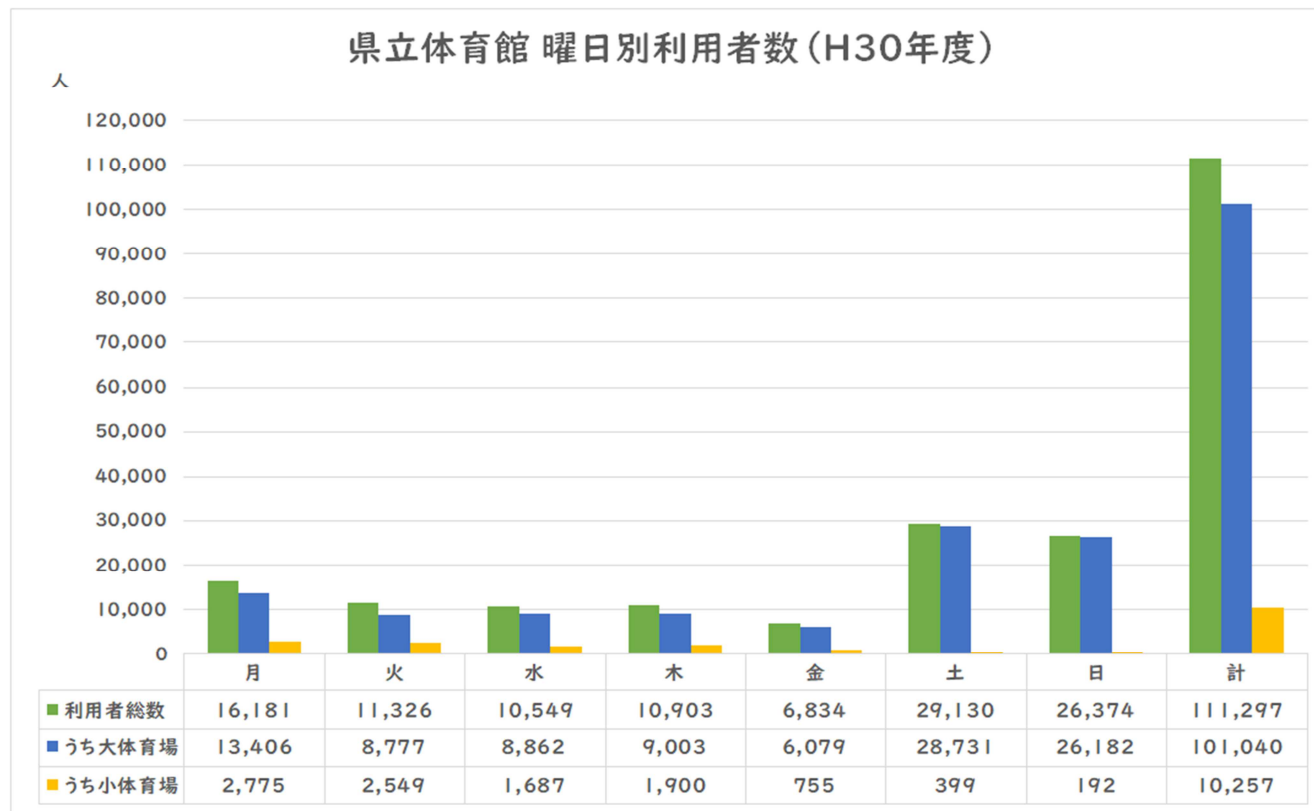
※集計方法が異なること等の理由により、他の公開情報と利用者数等の数値が異なる場合がある。



※大体育場、小体育場以外(会議室など)の利用は除く

※大会等で全館貸切で利用するなど、小体育場を付随的に利用している場合については、主目的の大体育場の利用のみを計上している

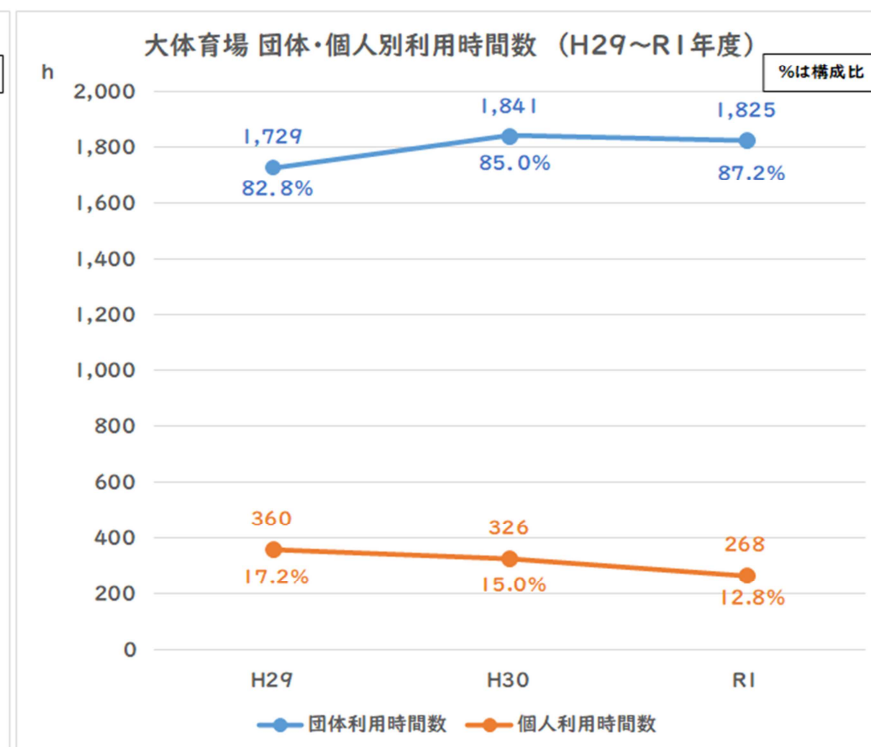
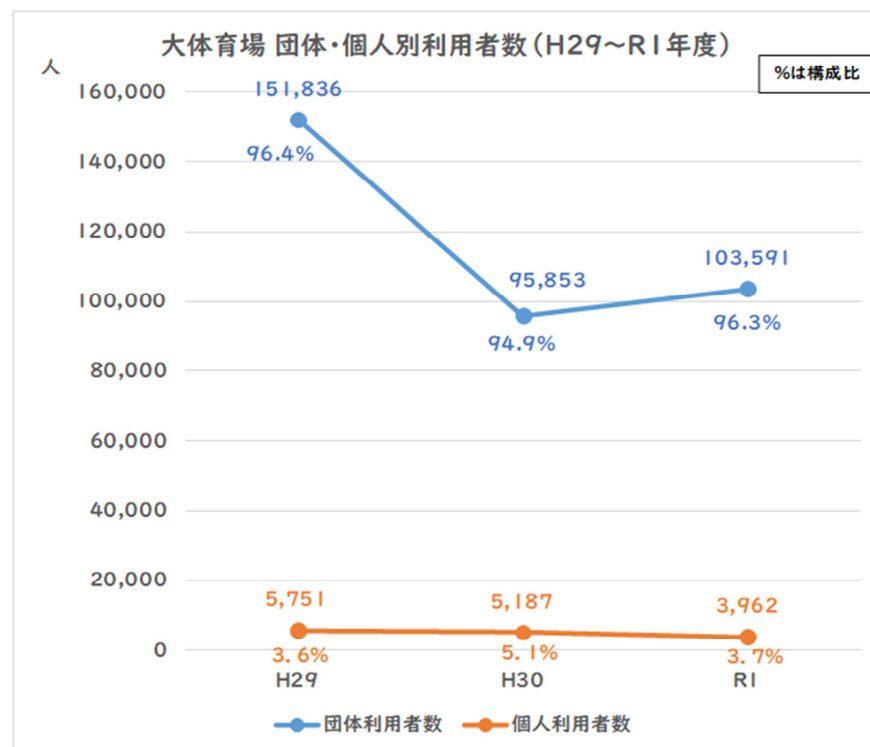
- 平成 29 年度は「第 27 回全国産業教育フェア秋田大会」や地元テレビ局の周年イベントが開催されたことから、過去 10 年間で最多となる 16 万人超の利用者数を記録した。
- 新型コロナウイルス感染症の影響がなかった平成 30 年度及び令和元年度（3 月は予約キャンセルあり）については、利用者数は 11 万人台で推移している。
- 各年度において、大体育場の利用者数が全体の 9 割以上を占めていることが分かった。



※大体育場、小体育場以外(会議室など)の利用は除く

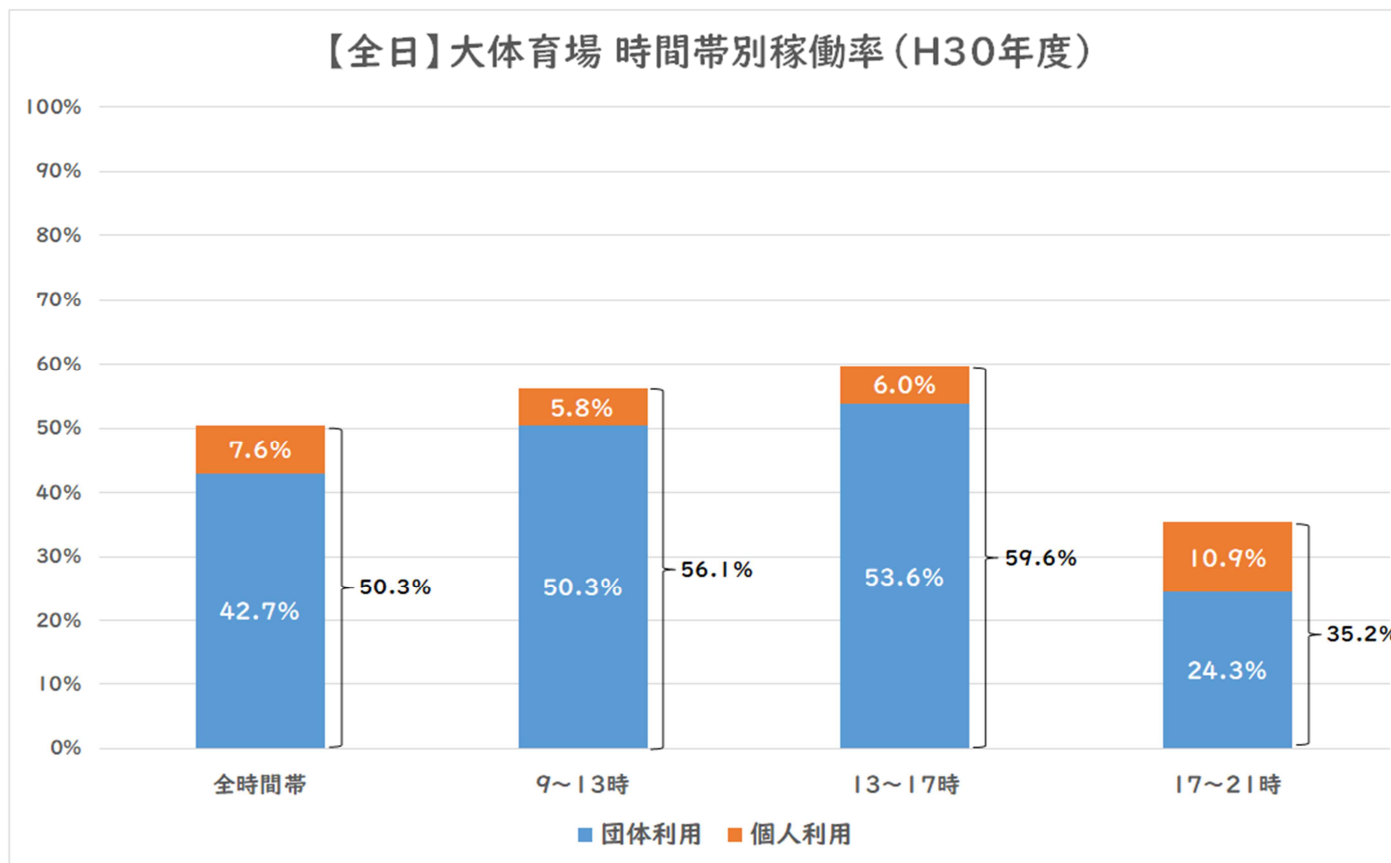
※大会等で全館貸切で利用するなど、小体育場を付随的に利用している場合については、主目的の大体育場の利用のみを計上している

- 平成 30 年度の利用者数を曜日別に分析したところ、土日の利用者が計 55,504 人（49.9％）と、ほぼ半数を占めていることが分かった。
- 次いで多いのが月曜日で、利用者数は 16,181 人（14.5％）であった。振替休日で他の曜日よりも祝日にあたるが多く、土日祝日の 3 連休を開催期間とした大会、イベント等が行われていることが要因と考えられる。



※大会等で全館貸切で利用するなど、小体育場を付随的に利用している場合については、主目的の大体育場の利用のみを計上している

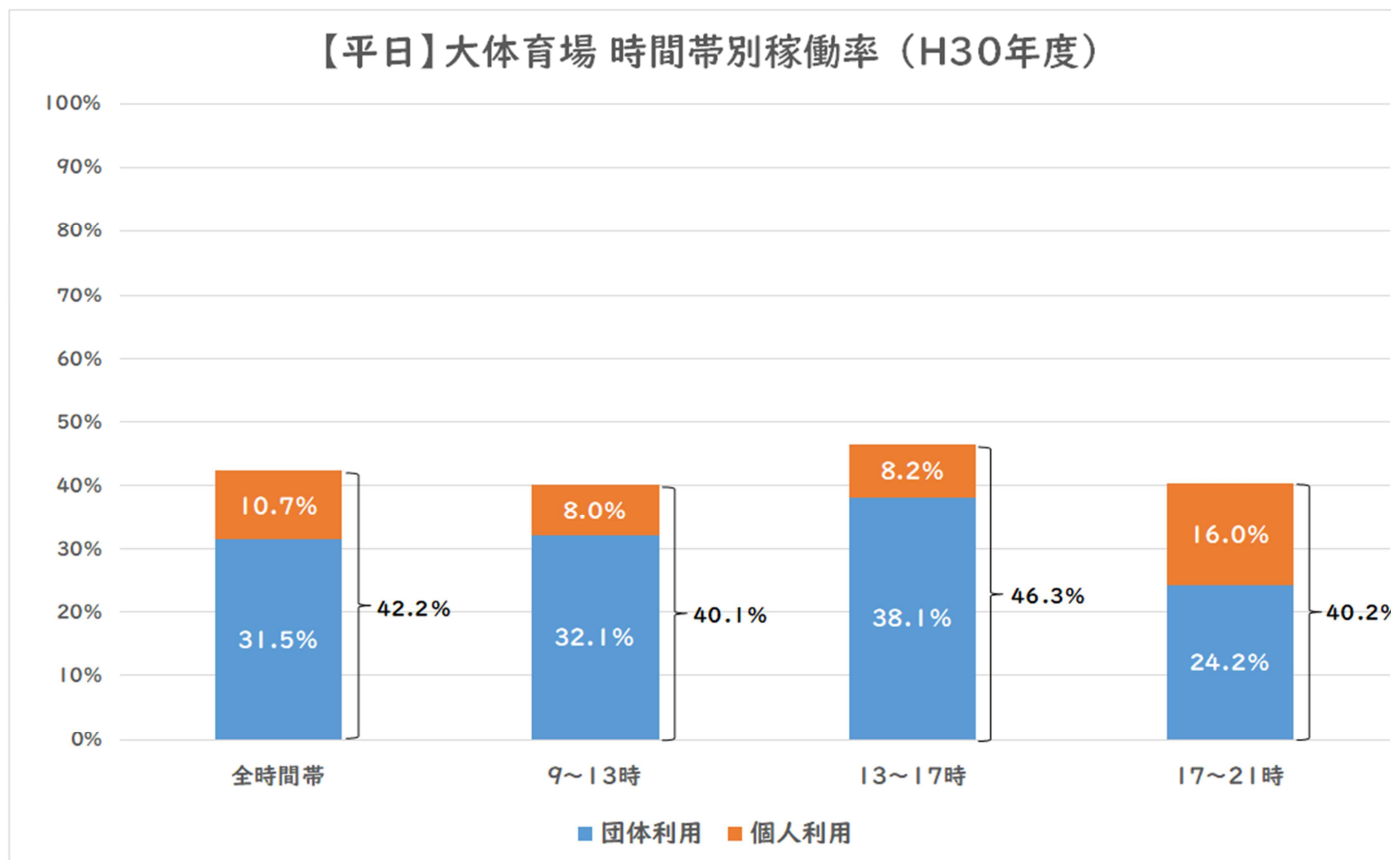
- 平成 29 年度から令和元年度までの大体育場の利用者数と利用時間数について、「団体利用」と「個人利用」に区分し分析した。
- 利用者数は「団体利用」が全体の約 95%を占めていることが分かった。
- 総利用時間数は各年度とも約 2,100h であったが、いずれも「団体利用」が全体の 8 割以上を占めていることが分かった。



※1日あたりの利用可能時間(9:00～21:00)12時間×開館日数359日=4,308時間 により稼働率を計算

※時間外利用(～9:00、21:00～)については対象から除いている

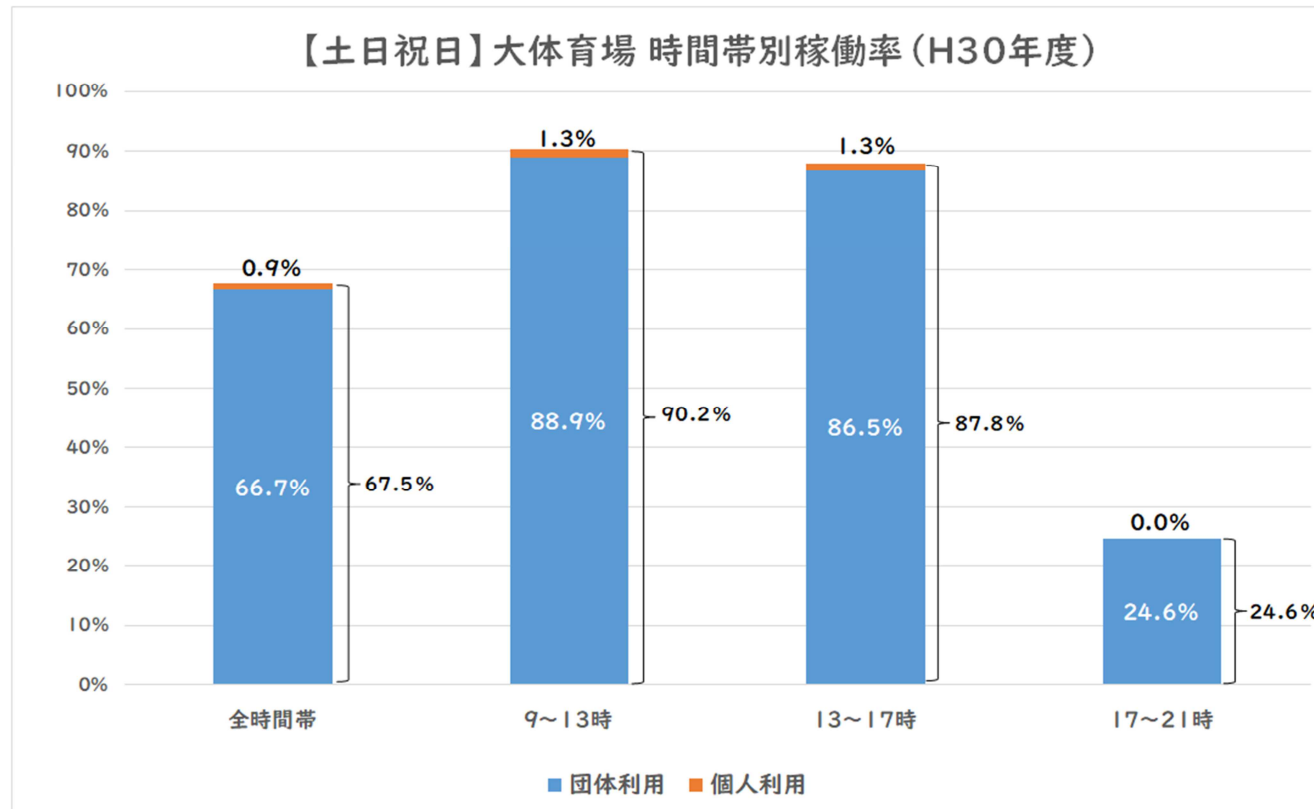
- 年間の利用可能時間(12h/日×開館日数 359 日=4,308h)をもとに稼働率を算出したところ、「全時間帯」では50.3%(2,167h)、うち団体利用が42.7%(1,841h)、個人利用が7.6%(326h)であることが分かった。
- 「13～17時」の稼働率が59.6%と最も高く、「17～21時」は35.2%と最も低いことが分かった。



※1日あたりの利用可能時間(9:00～21:00)12時間×開館日数(平日)244日=2,928時間により稼働率を計算

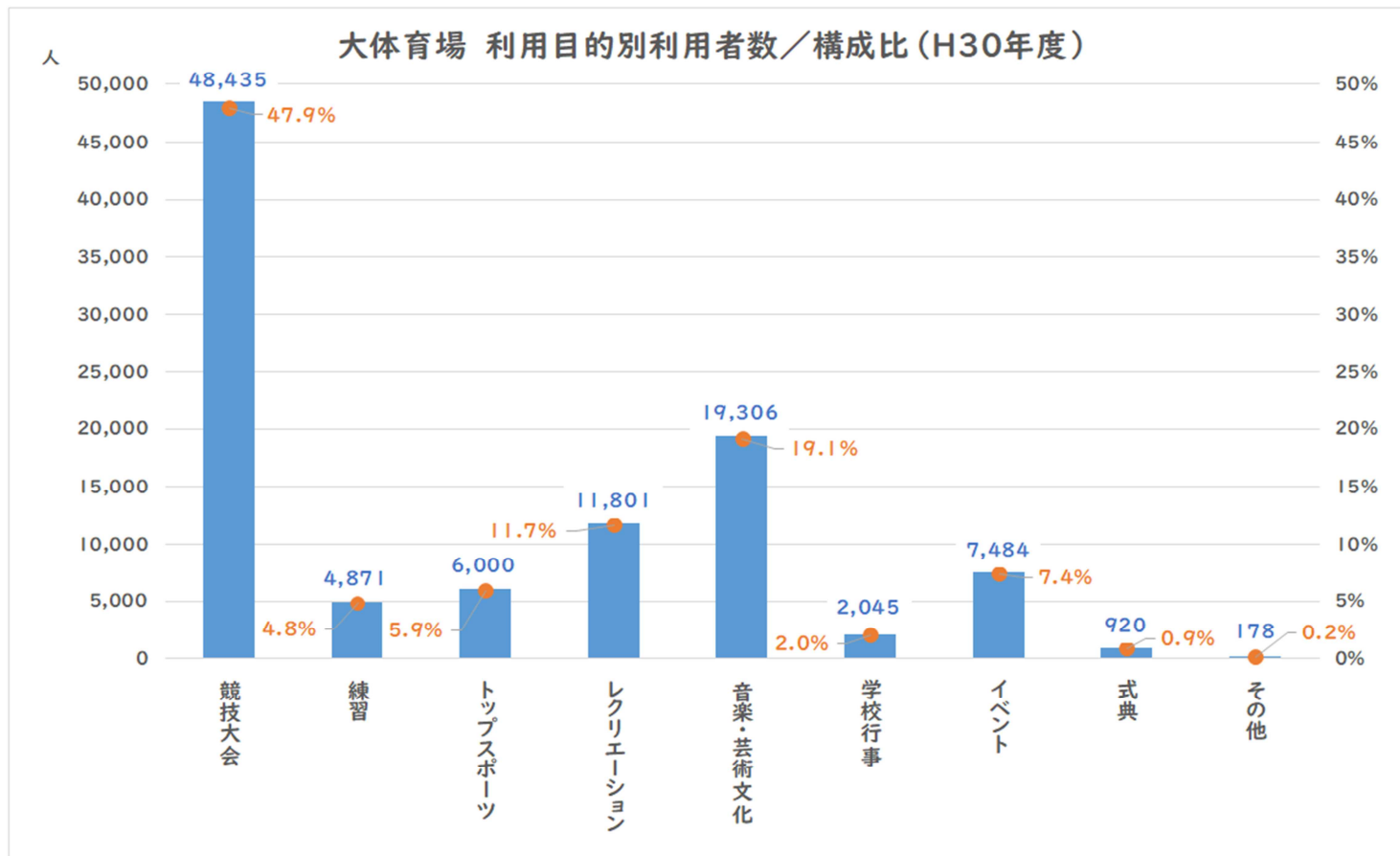
※時間外利用(～9:00、21:00～)については対象から除いている

- 平日の利用可能時間(12h/日×開館日数(平日)244日=2,928h)をもとに稼働率を算出したところ、「全時間帯」では42.2%(1,235h)、うち団体利用が31.5%(921h)、個人利用が10.7%(314h)であることが分かった。
- 各時間帯において、いずれも稼働率は40%台であった。



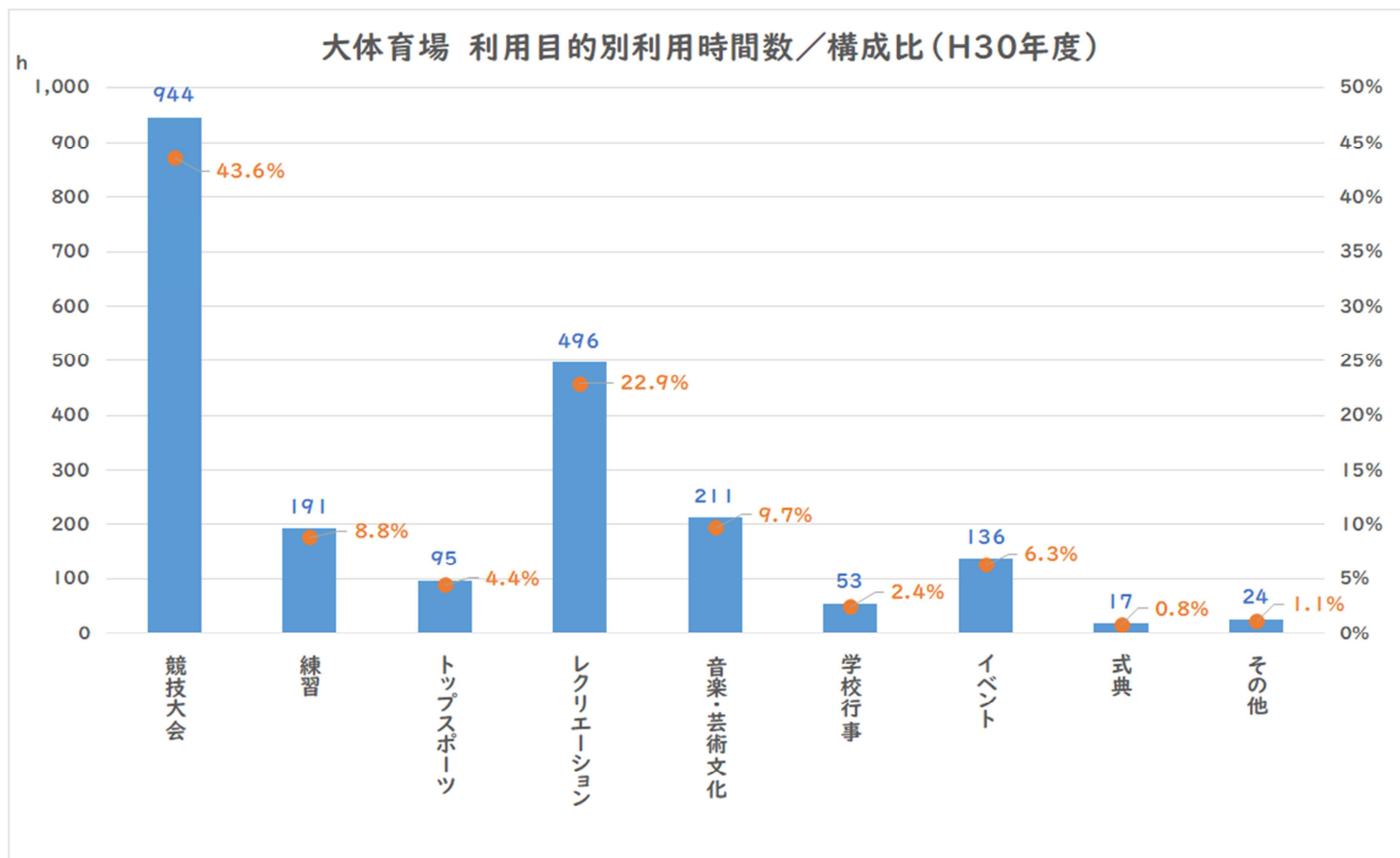
※1日あたりの利用可能時間(9:00～21:00)12時間×開館日数(土日祝日)115日=1,380時間により稼働率を計算
 ※時間外利用(～9:00、21:00～)については対象から除いている

- 土日祝日の利用可能時間(12h/日×開館日数(土日祝日)115日=1,380h)をもとに稼働率を算出したところ、「全時間帯」では67.5%(932h)、うち団体利用が66.7%(920h)、個人利用が0.9%(12h)であることが分かった。
- 「9～13時」、「13～17時」の稼働率は約90%と高いが、「17～21時」の稼働率は24.6%と低いことが分かった。
- 土日祝日は、大会やイベント等が開催されることが多いことから、団体利用が大部分を占めた。



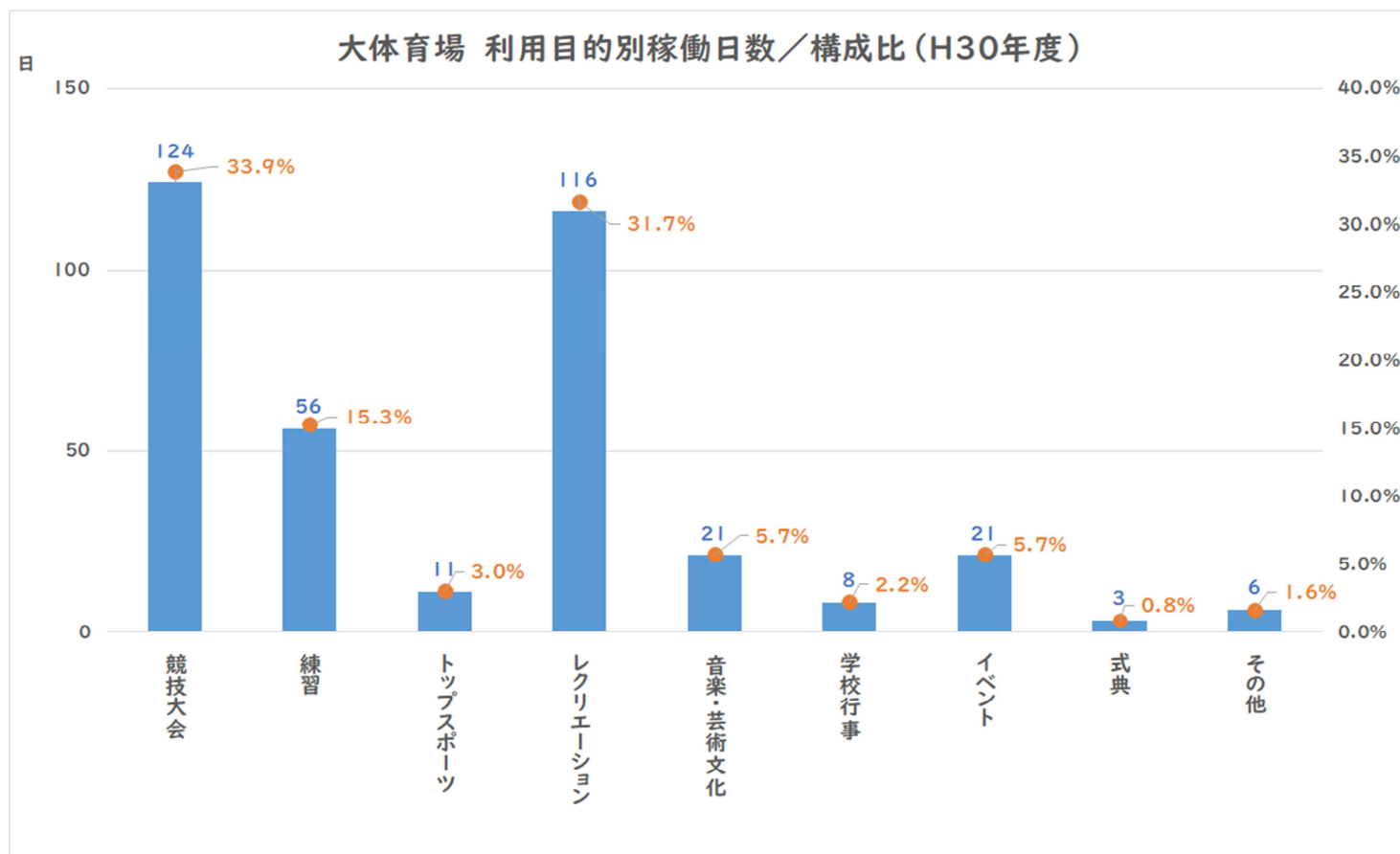
※時間外利用（～9:00、21:00～）については対象から除いている

○ 利用目的別の利用者数を分析したところ、多い順から、①「競技大会」が48,435人（47.9%）、②「音楽・芸術文化」が19,306人（19.1%）、③「レクリエーション」が11,801人（11.7%）、④「イベント」が7,484人（7.4%）、⑤「トップスポーツ」が6,000人（5.9%）となった。



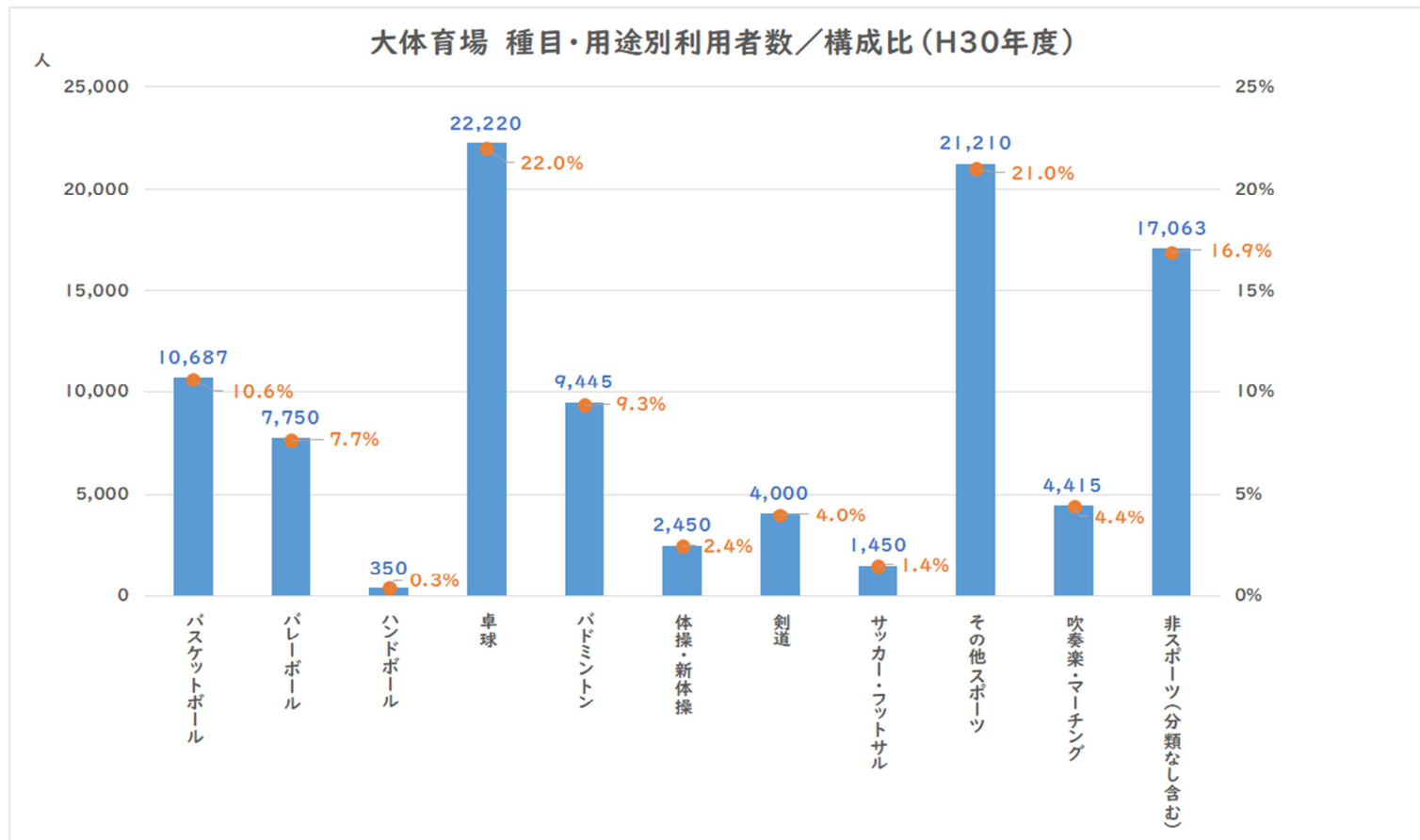
※時間外利用（～9:00、21:00～）については対象から除いている

○ 利用目的別の利用時間数を分析したところ、多い順から、①「競技大会」が944 h（43.6%）、②「レクリエーション」が496 h（22.9%）、③「音楽・芸術文化」が211 h（9.7%）、④「練習」が191 h（8.8%）、⑤「イベント」が136 h（6.3%）となった。



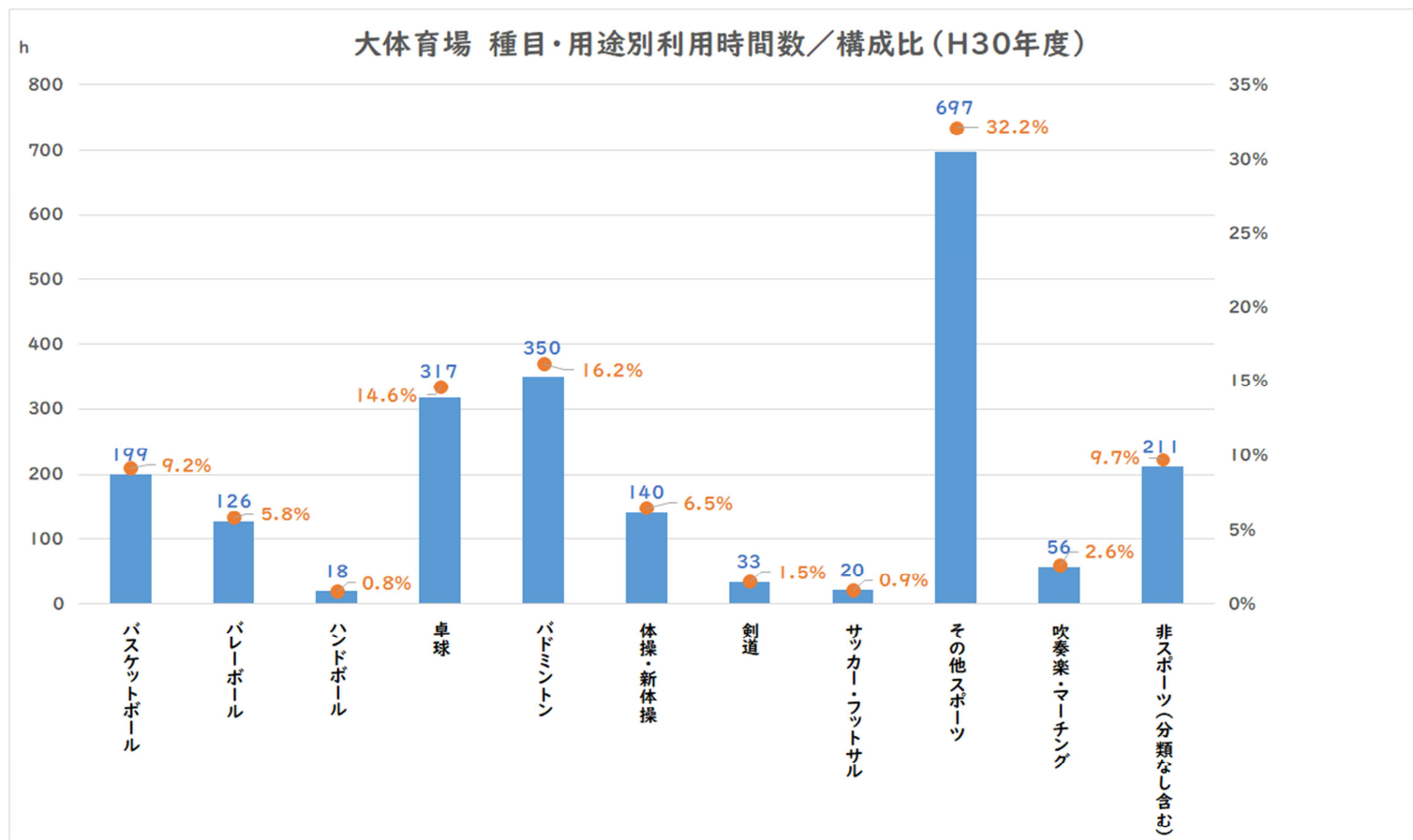
※時間外利用（～9:00、21:00～）については対象から除いている。また、同日中に異なる目的の利用があった場合は、それぞれを計上している。

- 利用目的別の稼働日数を分析したところ、多い順から、①「競技大会」が124日（33.9%）、②「レクリエーション」が116日（31.7%）、③「練習」が56日（15.3%）、④「音楽・芸術文化」及び「イベント」が21日（5.7%）となった。



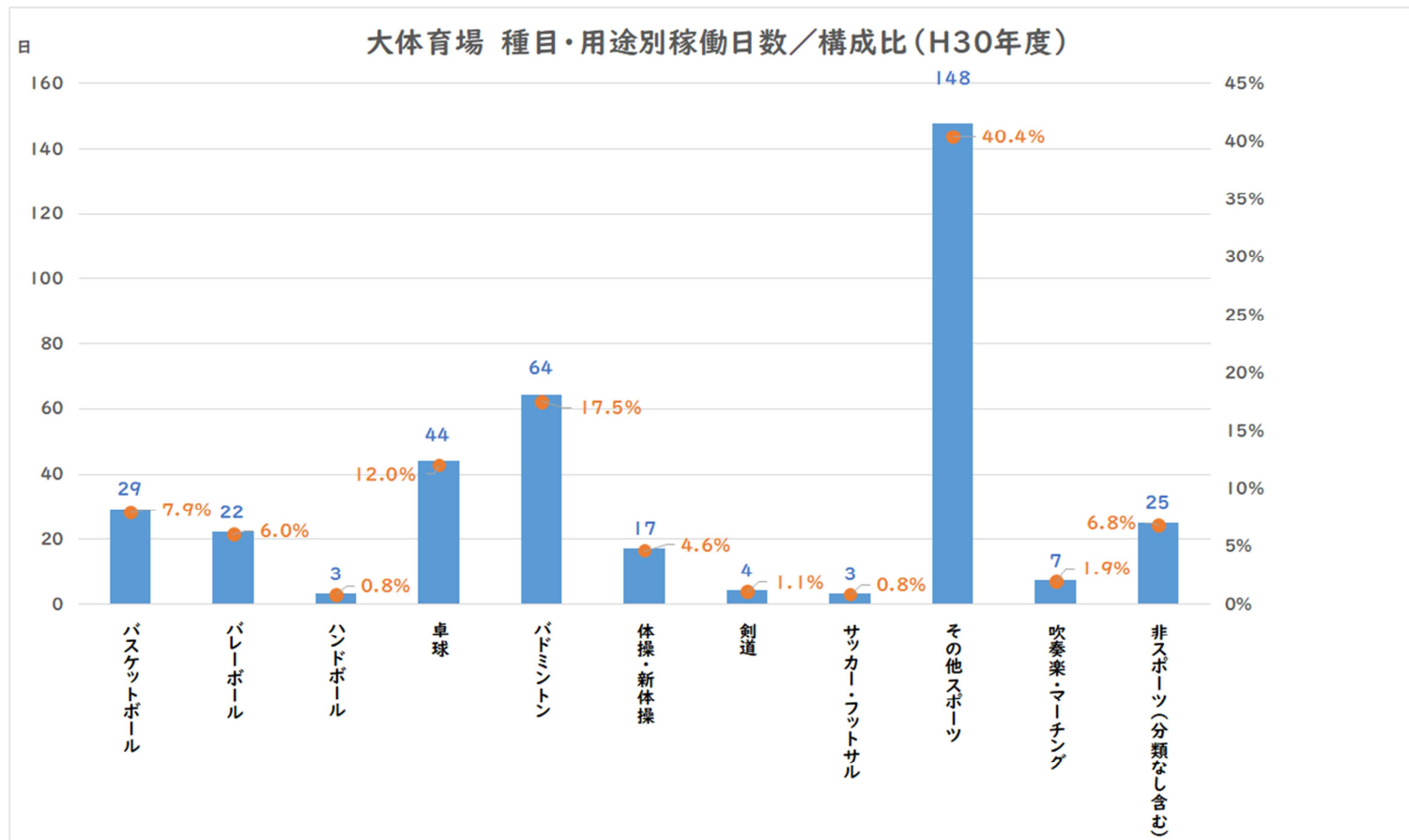
※時間外利用（～9:00、21:00～）については対象から除いている

○ 種目・用途別の利用者数を分析したところ、多い順から、①「卓球」が22,220人（22.0%）、②「その他スポーツ」が21,210人（21.0%）、③「非スポーツ（分類なし含む）」が17,063人（16.9%）、④「バスケットボール」が10,687人（10.6%）、⑤「バドミントン」が9,445人（9.3%）となった。



※時間外利用（～9:00、21:00～）については対象から除いている

○ 種目・用途別の利用時間数を分析したところ、多い順から、①「その他スポーツ」が697h（32.2%）、②「バドミントン」が350h（16.2%）、③「卓球」が317h（14.6%）、④「非スポーツ（分類なし含む）」が211h（9.7%）、⑤「バスケットボール」が199h（9.2%）となった。



※時間外利用（～9:00、21:00～）については対象から除いている。また、同日中に異なる目的の利用があった場合は、それぞれを計上している。

○ 種目・用途別の稼働日数を分析したところ、多い順から、①「その他スポーツ」が148日（40.4%）、②「バドミントン」が64日（17.5%）、③「卓球」が44日（12.0%）、④「バスケットボール」が29日（7.9%）、⑤「非スポーツ（分類なし含む）」が25日（6.8%）となった。